



TOTO

フロア・サイド・トール・ウォールキャビネット

LBFS025・030・045A / BK型
LWFS015・025・030・045型

LYFS025・030・045型
LTSFS015・025・030・045型

商品の機能が十分に発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1. 安全上のご注意

- 取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けいただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
- 使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。		は、必ず実行していただく「強制」内容です。
--	--------------------	--	-----------------------

- 取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

警告

<p> 禁止</p> <p>電源コードを傷つけない 漏電および火災の原因になります。</p>	<p>浴室など湿気の多い場所へ設置しない 木部の膨潤、変形などによりキャビネットが外れてけがをするおそれがあります。</p>
---	--

警告

必ず実行

壁固定用ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する
キャビネットが転倒、落下しけがをするおそれがあります。

13mm以下
木さん

注意

禁止

洗面ボウルの上にとらない
故障及び転落・転倒してけがをするおそれがあります。

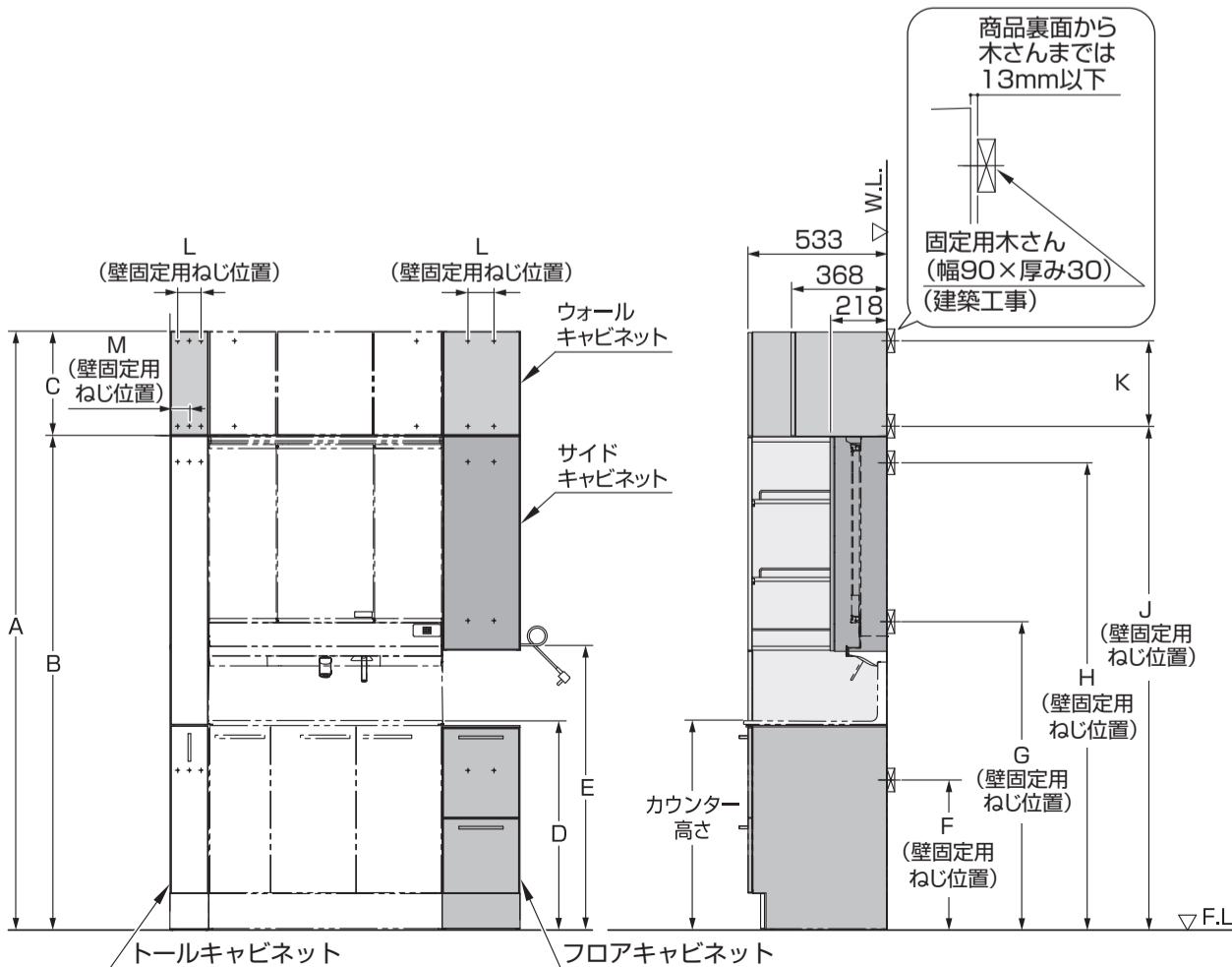
必ず実行

取り付け完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する
使用中にキャビネット・扉が落下してけがをするおそれがあります。

2. 設置寸法

- 特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。

カウンター高さ	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	キャビネット 間口寸法	M
750	2150	1850	300	734	1100	530	1242	1752	1890	220	150	75
	2250		400									
800	2200	1900	300	784	1150	580	1292	1802	1940	220	250	130
	2300		400									
850 (台輸付)	2250	1950	300	834	1200	630	1342	1852	1990	220	450	330
	2350		400									



3. 設置上のご注意

重要

天井フィラーを取り付ける場合は、キャビネット設置前に天井フィラーの組立・設置説明書をご覧ください。

- 取り付けは必ず平滑な壁面としてください。

4. 取り付け条件

警告

- **キャビネットの壁固定部分には、設置壁の裏面に固定用木さんを入れる**
※ウォールキャビネットは洗剤などが収納されるとかなりの重量になりますので地震などの際に落ちることのないように、壁固定用ねじ取り付け位置には、壁面に固定用木さんを入れてください。
- **木さんを使用せず、下地材を合板とする場合は、設置壁の全面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付ける(建築工事)**
 必ず実行
コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじにあったプラグ(引抜き強度:1,000N以上/本)を打ち込んでおいてください。プラグは壁固定用ねじにあわせて現場にて準備してください。(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)
キャビネットが落下しけがをするおそれがあります。

- 洗面化粧台を取り付ける床面、壁面はクロス貼りなどの仕上げを施してください。

5. 付属部品明細

●カウンター付きフロアキャビネット / 取り付け要領 ... 8

名称		数量
壁固定	座付タッピンねじ (φ5.2×55)	2本
連結	座付タッピンねじ (φ3.9×28) ※1	2本
	天板固定用ねじ (φ4×14)	4本
	化粧キャップ	4個
	すき間パッキン (厚み6mm)	1個

●サイドキャビネット / 取り付け要領 ... 9

名称		数量
壁固定	座付タッピンねじ (φ5.2×55)	4本
	化粧キャップ	4個

●ウォールキャビネット / 取り付け要領 ... 11

名称	数量			
	奥行368 全サイズ	奥行533 150 サイズ	150 サイズ 以外	
壁固定	座付タッピンねじ (φ5.2×55)	4本	2本	4本
連結	座付タッピンねじ (φ3.9×28) ※1	2本	3本	4本
	化粧キャップ	6個	5個	8個
	パッキン (厚み2mm)	-	1個	1個
	パッキン (厚み6mm)	1個	-	-

●トールキャビネット / 取り付け要領 ... 10

名称	数量		
	150 サイズ	150 サイズ 以外	
壁固定	座付タッピンねじ (φ5.2×55)	1本	2本
連結	座付タッピンねじ (φ3.9×28) ※1	2本	2本
	仕切板	2枚	-
	化粧キャップ	3個	4個
	すき間パッキン (厚み6mm)	1個	1個
	パッキン (厚み2mm)	-	1個
壁固定	座付タッピンねじ (φ5.2×55)	1本	2本
連結	座付タッピンねじ (φ3.9×28) ※1	-	2本
	化粧キャップ	1個	4個
	穴ふさぎ用化粧キャップ ※2	4個	-

- ※1: 隣接するキャビネットがない場合は、使用しません。
 ※2: 壁及びキャビネットが隣接する場合は、使用しません。

6. トールキャビネット品番明細

セット品番	フロアキャビネット品番	ミドルキャビネット品番
LTSFS015A/BNL/R	LBFS015A/BNG	LLFS015GNL/R
LTSFS025A/BNL/R	LBFS025A/BNG	LLFS025GNL/R
LTSFS030A/BNL/R	LBFS030A/BNG	LLFS030GNL/R
LTSFS045A/BNL/R	LBFS045A/BNG	LLFS045GNL/R

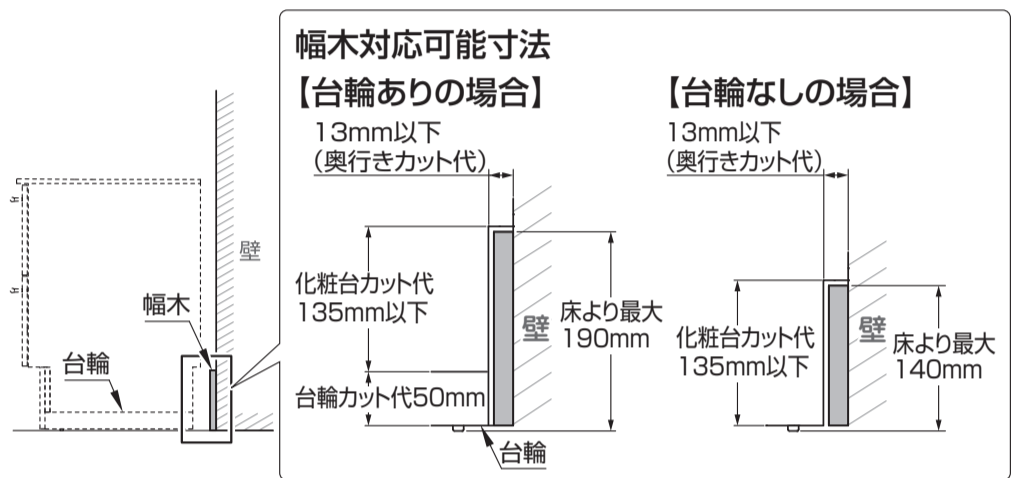
7. キャビネットを取り付ける前に

確認1 台輪付ですか?

- キャビネットと台輪をセットしてください。
 ※セット要領は台輪の組立・設置説明書をご参照ください。

確認2 後壁に幅木はありますか?

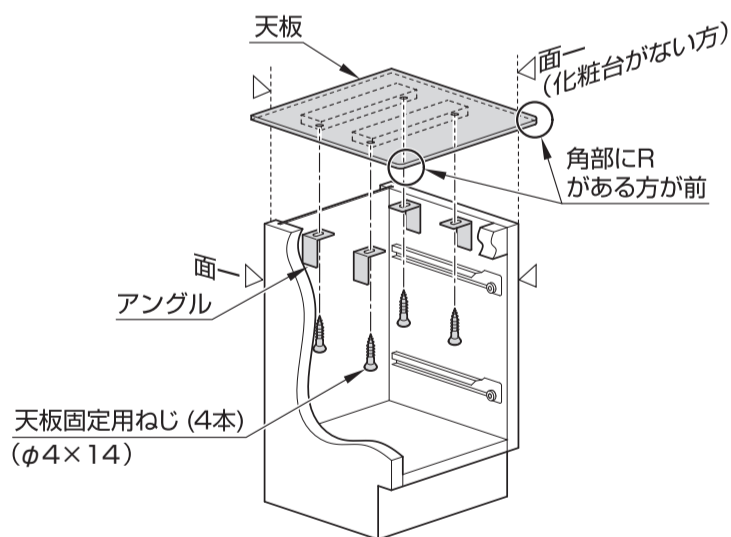
- 壁に幅木がある場合は、下記寸法以下であればキャビネット後部及び台輪後部をカットできます。



8. カウンター付きフロアキャビネットの取り付け (番号順に取り付けてください。)

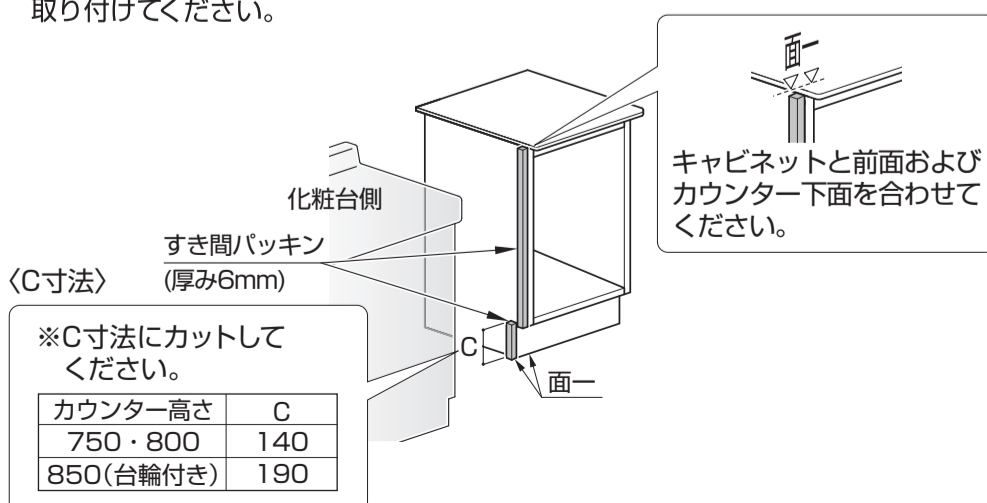
1 天板の取り付け

- 天板をアングルに天板固定用ねじ(4本)で取り付けてください。



2 すき間パッキンの取り付け

- 洗面化粧台とキャビネットのすき間にパッキンを形状に合わせてカットして取り付けてください。

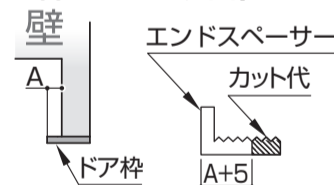


3 エンドスペーサーの取り付け (別売品)

- 設置レイアウトよりエンドスペーサーが必要な場合は、次の要領で別売品のエンドスペーサーを取り付けてください。
 (フロアキャビネット用エンドスペーサー.....LEFS030GBN1G)

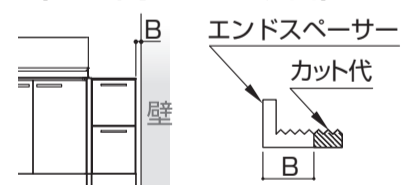
- (1)寸法を測定し、エンドスペーサーをカットしてください。
 ※エンドスペーサー幅は最小5mm、最大30mm対応可能です。

〈ドア枠がある場合〉



- A寸法を測定し、エンドスペーサーを(A+5)mmにカットしてください。

〈すき間がある場合〉

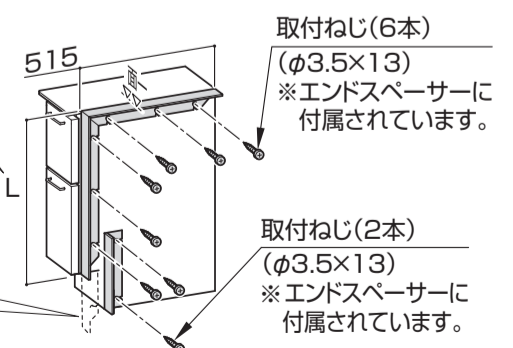


- エンドスペーサーを取り付けるキャビネットを所定の位置に仮置きしてください。
 ●壁とのすき間B寸法を測定し、エンドスペーサーをB寸法にカットしてください。
 ●仮置きしたキャビネットを取り外してください。

〈L寸法〉

- ※カウンター高さ750の場合は、L寸法にカットしてください。

カウンター高さ	L
750	594
800	カットなし

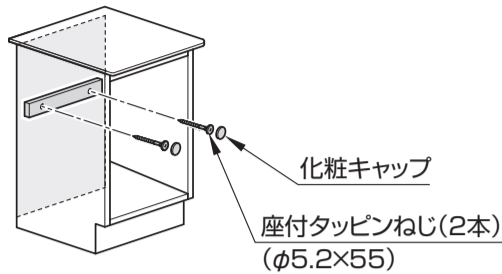


- (2)キャビネットにエンドスペーサーを合わせ、ねじ取り付け位置をけがいてください。
 (3)けがき位置に下穴(φ2.5×5)をあけてください。
 (4)エンドスペーサーを下穴に合わせ、取付ねじを取り付けてください。
 その際、エンドスペーサーの着脱ができるよう取付ねじの高さを調節してください。
 (5)エンドスペーサーを取り外し、キャビネットを壁固定したあと、差し込んでください。

8. カウンター付きフロアキャビネットの取り付け(つづき)

4 キャビネットの取り付け

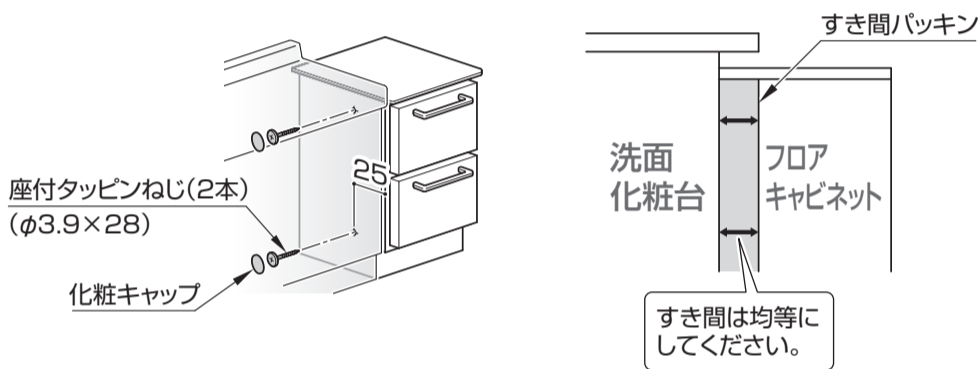
- 裏板に開いたφ3の目印を目安に、付属の壁固定用ねじ(2本)で壁に確実に固定してください。
- ※壁がゆがんでいると、キャビネット本体がゆがんで取り付けますので、ライナー(現場調達)を入れて垂直に固定してください。



※コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ(引抜き強度: 1000N以上/本)を打ち込んでおいてください。
(プラグ用の下穴は必ず使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

5 キャビネットの連結

- 隣接するキャビネットの内側から付属の連結用ねじでキャビネットを固定してください。
- ※連結用ねじで固定する時は、下穴を設けてください。



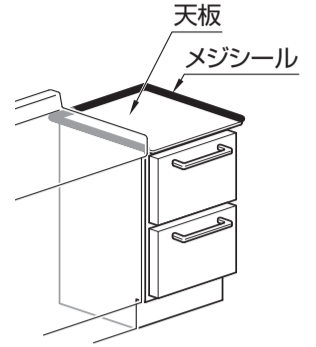
6 壁とのすき間処理

- 天板と壁またはキャビネットの突き合わせ部をシリコンシール材でシールしてください。

⚠ 注意

必ずシールをする
シールしないと突き合わせ部から水が浸入し、キャビネットや壁・床を傷める場合があります。

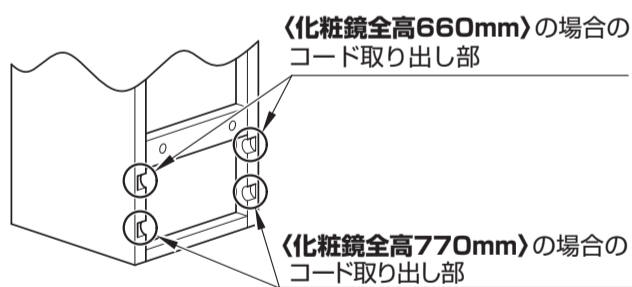
必ず実行



9. サイドキャビネットの取り付け(番号順に取り付けてください。)

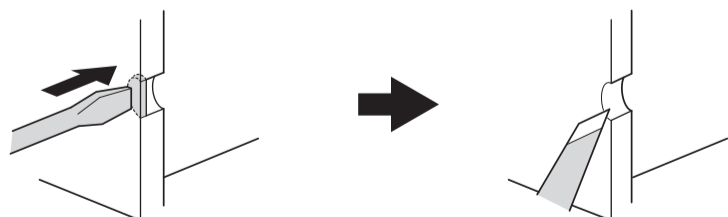
1 電源コードの取り出し

- サイドキャビネットの裏を電源コードが通る場合は、サイドキャビネットの裏面を化粧鏡のコード取り出し位置に合わせて⊖ドライバーで化粧板側(外側)から突き破ってください。



化粧板側(外側)から突き破る
(※内側から突くと化粧板が欠けます。)

ナイフで仕上げる



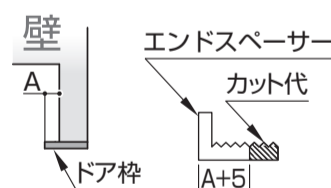
2 エンドスペーサーの取り付け(別売品)

- 設置レイアウトよりエンドスペーサーが必要な場合は、次の要領で別売品のエンドスペーサーを取り付けてください。
(サイドキャビネット用エンドスペーサー.....LEFS040GYN1G)

(1) 寸法を測定し、エンドスペーサーをカットしてください。

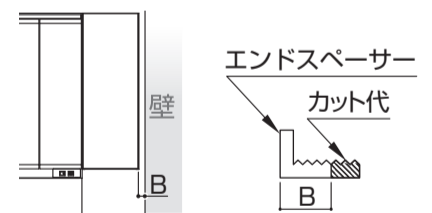
※エンドスペーサー幅は最小5mm、最大40mm対応可能です。

〈ドア枠がある場合〉



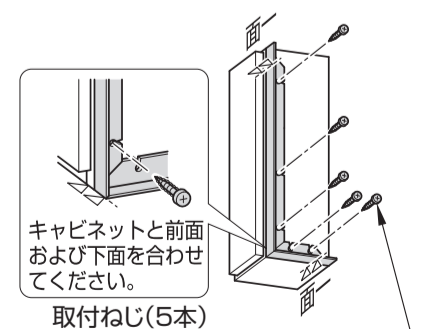
- A寸法を測定し、エンドスペーサーを(A+5)mmにカットしてください。

〈すき間がある場合〉



- エンドスペーサーを取り付けるキャビネットを所定の位置に仮置きしてください。
- 壁とのすき間B寸法を測定し、エンドスペーサーをB寸法にカットしてください。
- 仮置きしたキャビネットを取り外してください。

- キャビネットにエンドスペーサーを合わせ、ねじ取り付け位置をけがいてください。
- けがき位置に下穴(φ2.5×5)をあけてください。
- エンドスペーサーを下穴に合わせ、取付ねじを取り付けてください。その際、エンドスペーサーの着脱ができるよう取付ねじの高さを調節してください。
- エンドスペーサーを取り外し、キャビネットを壁固定したあと、差し込んでください。



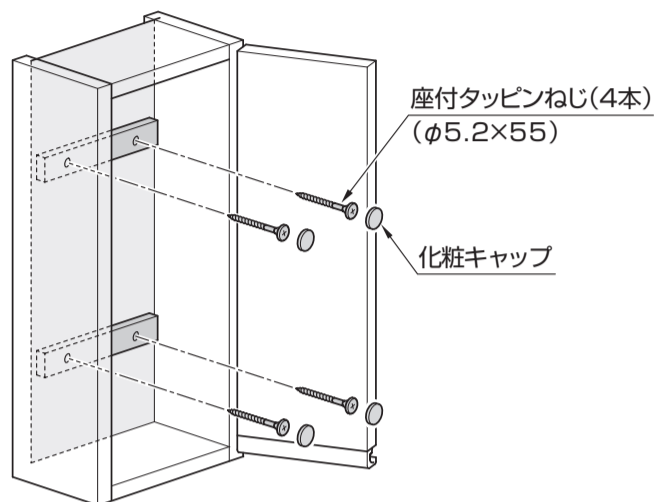
※エンドスペーサーに付属されています

9. サイドキャビネットの取り付け(つづき)

3 キャビネットの取り付け

- 付属の壁固定用ねじ(4本)で壁に確実に固定してください。
※壁がゆがんでいたり、キャビネット本体がゆがんで取り付けますので、ライナー(現場調達)を入れて垂直に固定してください。

※コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ(引抜き強度:1000N以上/本)を打ち込んでおいてください。
(プラグ用の下穴は必ず使用プラグ指定のドリル径であけてください。)



4 棚板の取り付け

- 棚受けダボを棚受けダボ用穴に差し込み、棚板をのせてください。

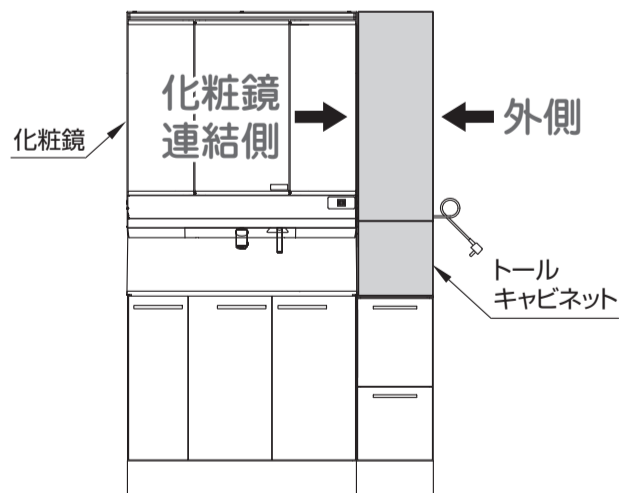
10. トールキャビネットの取り付け(番号順に取り付けてください。)

1 キャビネットの扉・引き出しを外す

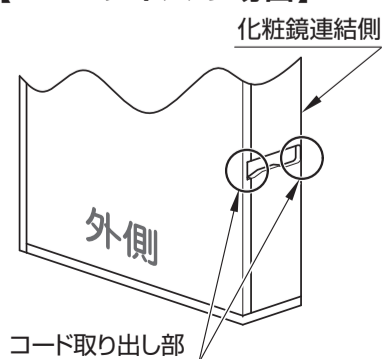
- 外した扉・引き出しは傷がつかないように養生等をして保管ください。
- 取り付け完了後、元に戻してください。
(扉・引き出しの取り外しかた・取り付けかたは、12. 取り付け完了後の確認と清掃 をご参照ください。)

2 電源コードの取り出し

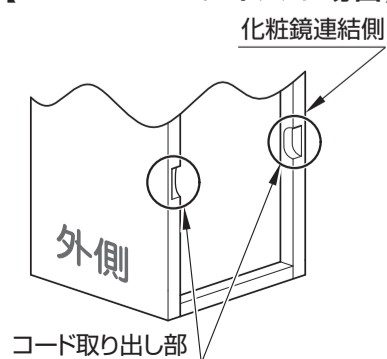
- トールキャビネットの裏を電源コードが通る場合は、トールキャビネット裏面を化粧鏡のコード位置に合わせて⊖ドライバーで化粧板側(外側)から突き破ってください。



【150サイズの場合】

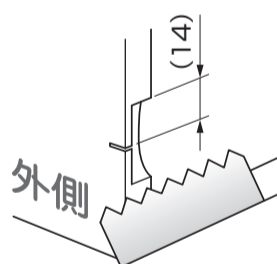


【250~450サイズの場合】

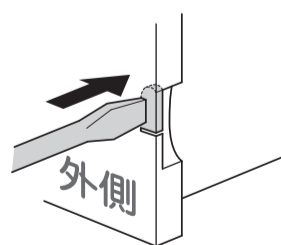


〈外側〉

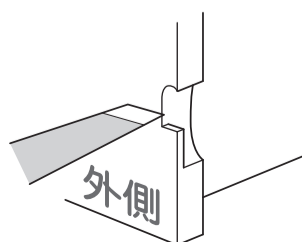
- ① 切り欠き部に合わせ、のこぎりで切り込みをいれる
※外側は電源コードに合わせて切り欠いてください。



- ② 切り欠き部の上側を⊖ドライバーで化粧板側(外側)から突き破る
※内側から突くと化粧板が欠けます。

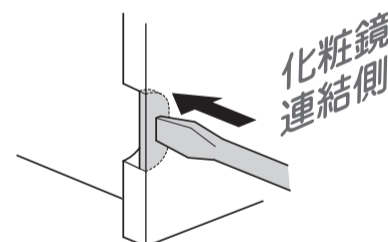


- ③ 突き破った部分をナイフで仕上げる

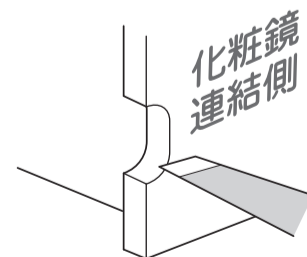


〈化粧鏡連結側〉

- ① 切り欠き部を⊖ドライバーで化粧板側(化粧鏡連結側)から突き破る
※内側から突くと化粧板が欠けます。

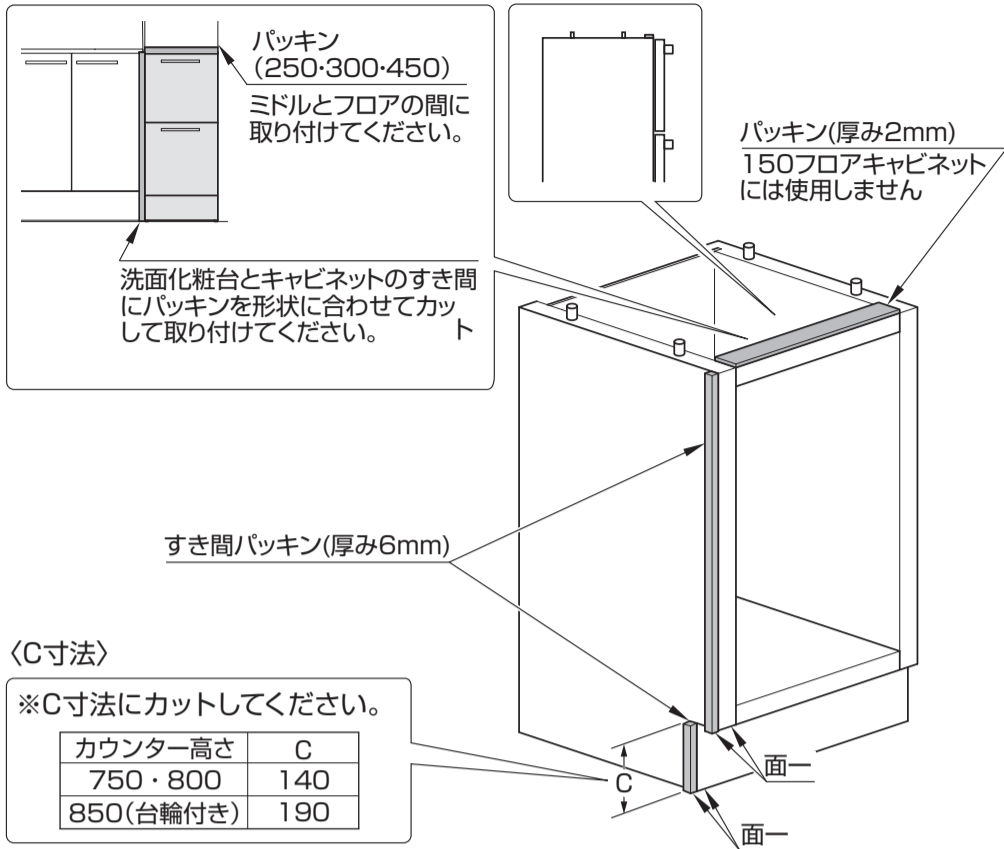


- ② 突き破った部分をナイフで仕上げる



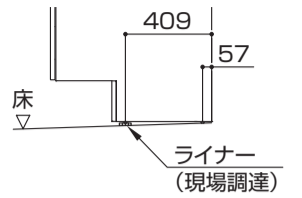
10. トールキャビネットの取り付け(つづき)

3 パッキンの取り付け



4 キャビネットの仮置き・水平確認

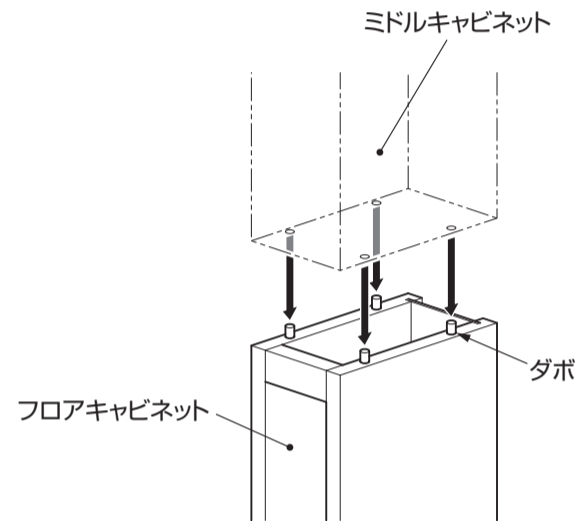
キャビネットを設置位置に仮置きする。
※床の水平が出ていない場合は、ライナー(現場調整)を入れて調整してください。



スペーサーで調整する前に、転倒防止の包装材を取り外してください。

5 ミドルキャビネットの連結

• 先にフロア部を壁固定し、フロア部のダボにミドル部のダボ穴を合わせてセットしてください。



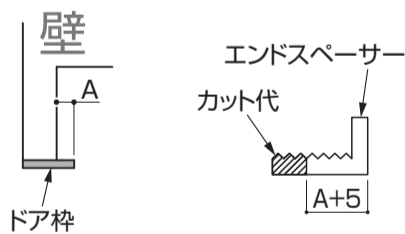
6 エンドスペーサーの取り付け(別売品)

• 設置レイアウトよりエンドスペーサーが必要な場合は、次の要領で別売品のエンドスペーサーを取り付けてください。
(トールキャビネット用エンドスペーサー...LEFS040GTT1G)

(1) 寸法を測定し、エンドスペーサーをカットしてください。
※エンドスペーサー幅は最小5mm、最大40mm対応可能です。

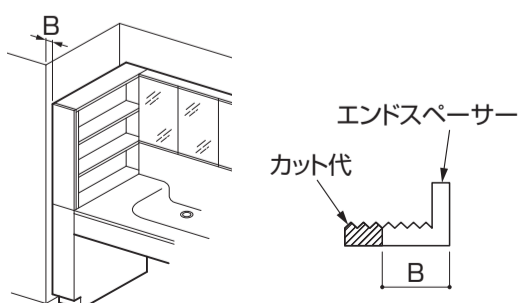
〈ドア枠がある場合〉

• A寸法を測定し、エンドスペーサーを(A+5)mmにカットしてください。

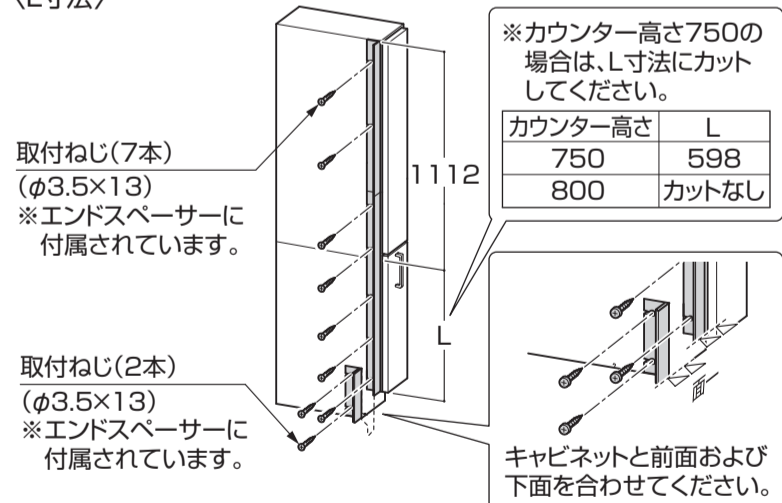


〈すき間がある場合〉

• エンドスペーサーを取り付けるキャビネットを所定の位置に仮置きしてください。
• 壁とのすき間B寸法を測定し、エンドスペーサーをB寸法にカットしてください。
• 仮置きしたキャビネットを取り外してください。



〈L寸法〉



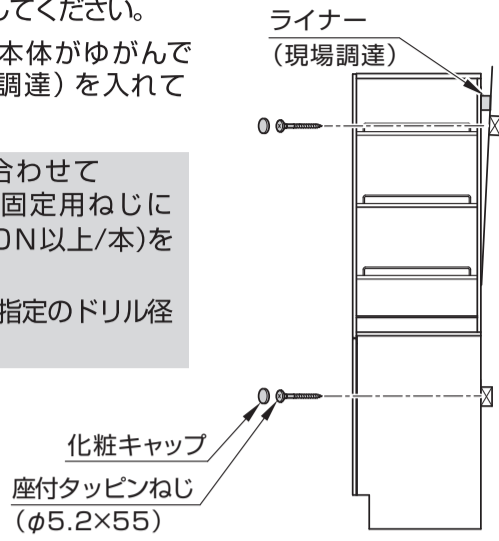
- (2) キャビネットにエンドスペーサーを合わせ、ねじ取り付け位置をけがく。
- (3) けがき位置に下穴(φ2.5×深さ5)を開ける。※下穴を貫通させないこと。
- (4) エンドスペーサーを下穴に合わせ、取付ねじ(φ3.5×13)を取り付ける。その際、エンドスペーサーの着脱ができるようねじの高さを調節してください。
- (5) 一旦、エンドスペーサーを取り外し、キャビネットを壁固定したあと、前から差し込んでください。

10. トールキャビネットの取り付け(つづき)

7 キャビネットの取り付け

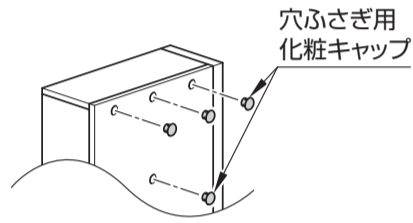
- 付属の壁固定用ねじで壁に確実に固定してください。
- ※壁がゆがんでいたり、キャビネット本体がゆがんで取り付きますので、ライナー(現場調達)を入れて垂直に固定してください。

※コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ(引抜き強度:1000N以上/本)を打ち込んでおいてください。(プラグ用の下穴は必ず使用プラグ指定のドリル径であけてください。)



〈間口 150 サイズの場合のみ〉

- 壁及びキャビネットが隣接しない場合は、付属の穴ふさぎ用化粧キャップ(4個)を取り付けてください。

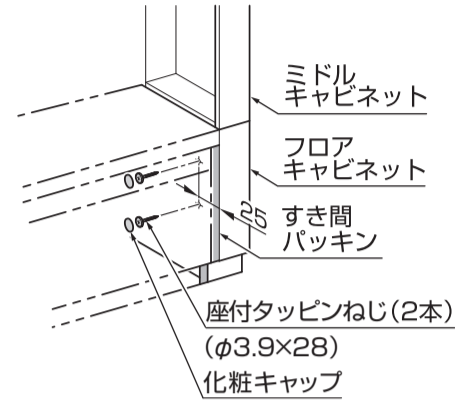


8 キャビネットの連結(隣接するキャビネットがある場合)

- 連結用ねじで固定する時は、下穴を設けてください。
- ※トールキャビネットは、水かかりでおこる木部変形を防ぐため、コーナーカバーを取り付けています。トールキャビネット同士で連結するとキャビネットにコーナーカバーが挟まれ、すき間が発生します。

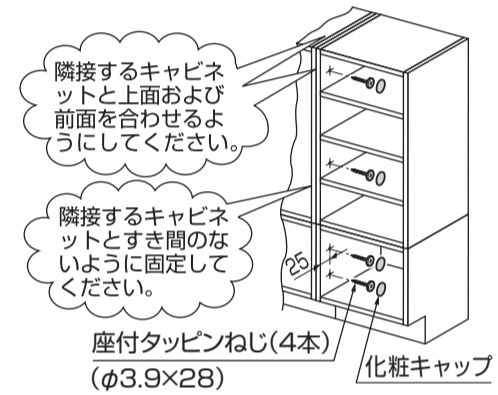
〈洗面化粧台と連結する場合〉

- 隣接するキャビネットの内側から付属の連結用ねじ(2本)でキャビネットを固定してください。



〈洗面化粧台以外と連結する場合〉

- キャビネットの内側より付属の連結用ねじ(4本)で隣接するキャビネットと固定してください。

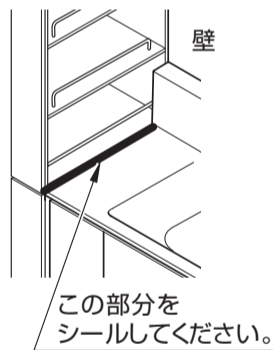


9 洗面化粧台とすき間処理

- カウンターとトールキャビネットの突き合わせ部をシリコンシール材でシールしてください。

⚠ 注意

- 必ずシールをする**
 シールしないと突き合わせ部から水が浸入し、キャビネットや壁・床を傷める場合があります。



11. ウォールキャビネットの取り付け

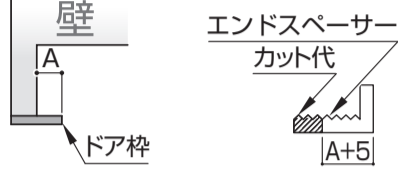
1 エンドスペーサーの取り付け (別売品)

- 設置レイアウトよりエンドスペーサーが必要な場合は、次の要領で別売品のエンドスペーサーを取り付けてください。
(トール用ウォールキャビネット用エンドスペーサー…LEFS040GWT1G)
(ウォールキャビネット用エンドスペーサー……………LEFS040GWN1G)

- (1) 寸法を測定し、エンドスペーサーをカットしてください。
※エンドスペーサー幅は最小5mm、最大40mm対応可能です。

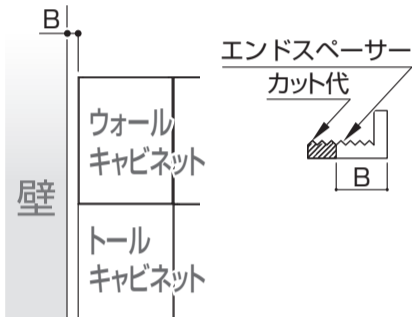
〈ドア枠がある場合〉

- A寸法を測定し、エンドスペーサーを(A+5)mmにカットしてください。



〈すき間がある場合〉

- エンドスペーサーを取り付けるキャビネットを所定の位置に仮置きしてください。
- 壁とのすき間B寸法を測定し、エンドスペーサーをB寸法にカットしてください。
- 仮置きしたキャビネットを取り外してください。



〈L寸法〉

※キャビネット高さ300mmの場合はL寸法にカットしてください。

キャビネット高さ	L
300	300
400	カットなし

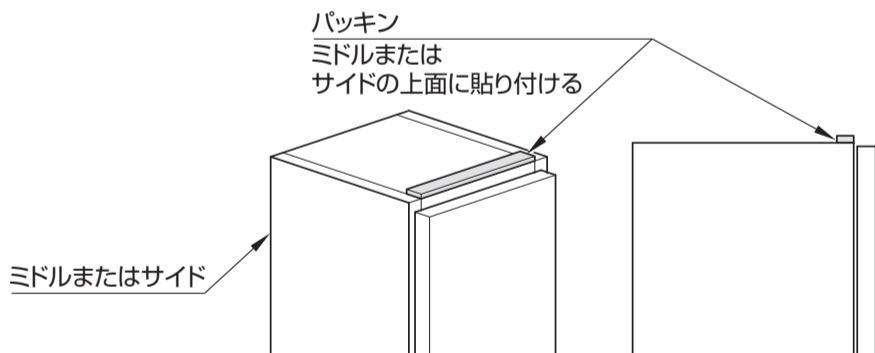


〈トール用ウォールキャビネットの場合〉

- (2) キャビネットにエンドスペーサーを合わせ、ねじ取り付け位置をけがいてください。
- (3) けがき位置に下穴(φ2.5×5)をあけてください。
- (4) エンドスペーサーを下穴に合わせ、取付ねじを取り付けてください。
その際、エンドスペーサーの着脱ができるよう取付ねじの高さを調節してください。
- (5) エンドスペーサーを取り外し、キャビネットを壁固定したあと、差し込んでください。

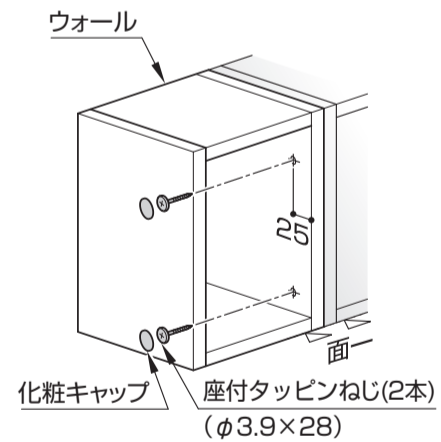
2 パッキンの取り付け

〈ウォールキャビネットの下にミドルキャビネットまたはサイドキャビネットがある場合〉



4 キャビネットの連結

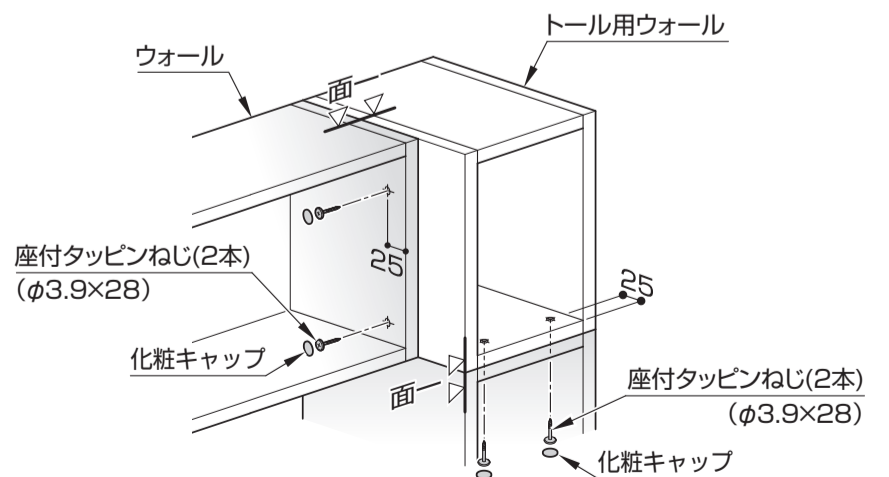
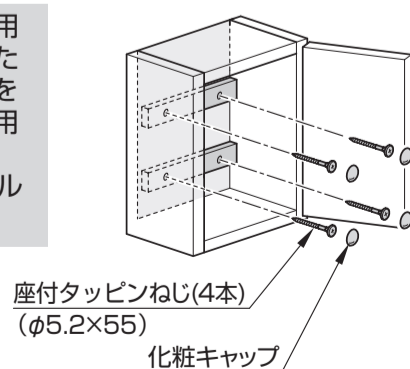
- 隣接するキャビネットの内側から付属の連結用ねじでキャビネットを固定してください。
- ※隣接するキャビネットと前面を面一にすき間のないように固定してください。
- ※取付ねじで固定する時は、下穴を設けてください。



3 キャビネットの取り付け

- 付属の壁固定用ねじ(4本)で壁に確実に固定してください。
- ※壁がゆがんでいると、キャビネット本体がゆがんで取り付けますので、ライナー(現場調達)を入れて垂直に固定してください。

※コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ(引き抜き強度: 1000N以上/本)を打ち込んでおいてください。プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。(プラグ用の下穴は必ず使用プラグ指定のドリル径であけてください。)



12. 取り付け完了後の確認と清掃

※扉・前板の傾き・がたつきなど丁番・レールのゆるみがないことを確認し、必ず調整をしてください。

●キャビネットが壁に完全に固定されているか確認してください。

【調整要領】

⚠注意

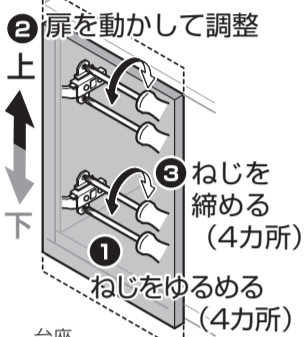


電動ドライバー禁止

部材が破損し扉の脱落につながり、けがをするおそれがあります。

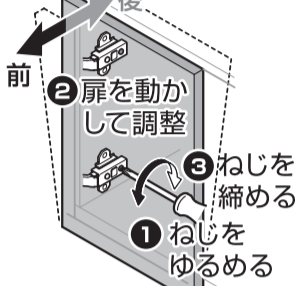
〈扉の丁番調整のしかた〉

〈上下のずれ〉
上下調整ねじで調整する。

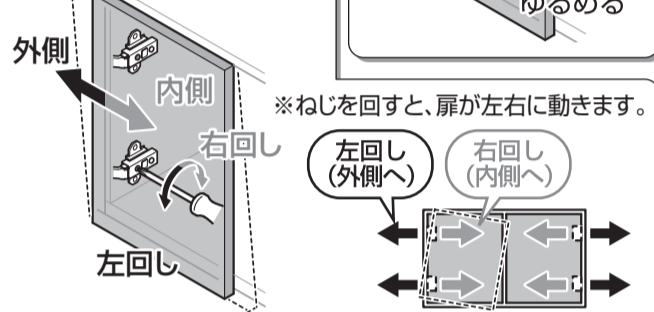


前後調整ねじ
左右調整ねじ
上下調整ねじ

〈前後のずれ〉前後調整ねじで調整する。

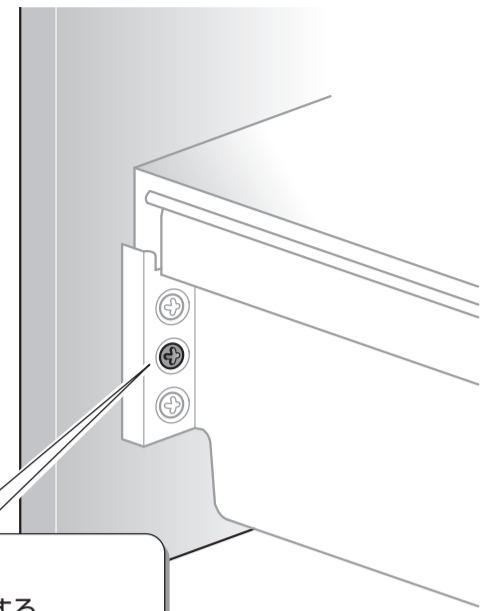


〈左右のずれ〉左右調整ねじで調整する。

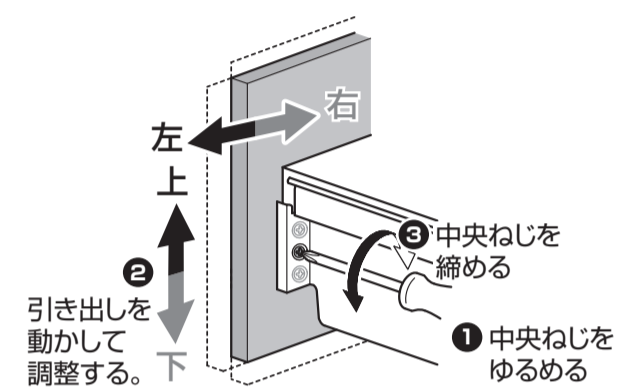


※ねじを回すと、扉が左右に動きます。

〈樹脂製引き出し〉



〈上下・左右のずれ〉
中央ねじ(左右2カ所)をゆるめて調整する。
(上下のねじはゆるめない。)



⚠注意



調整後、上下調整ねじをしっかりと締め付けてゆるみのないことを確認する

必ず実行 扉が落下してけがをするおそれがあります。

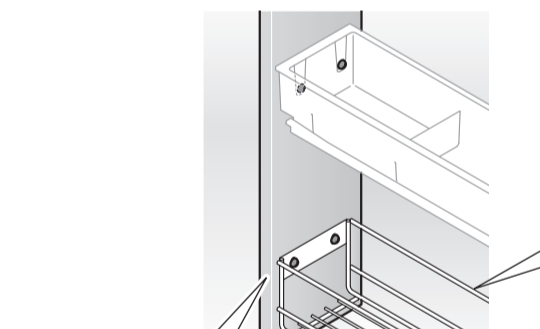
⚠注意



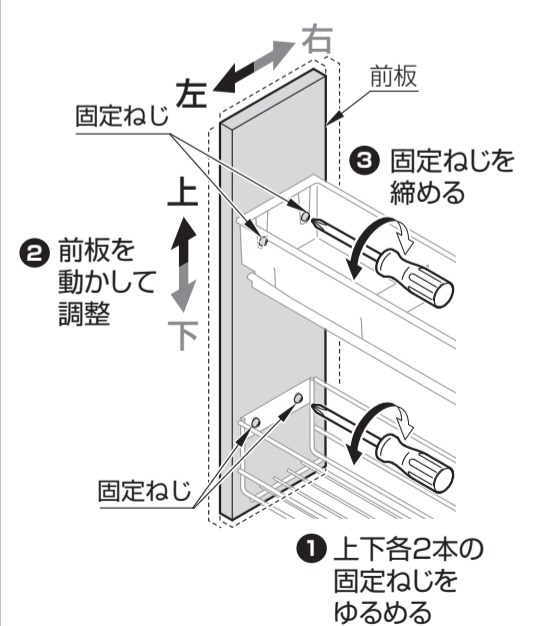
調整後は必ず、中央ねじ(左右2カ所)を締め付ける

必ず実行 引き出し前板が落下してけがをするおそれがあります。

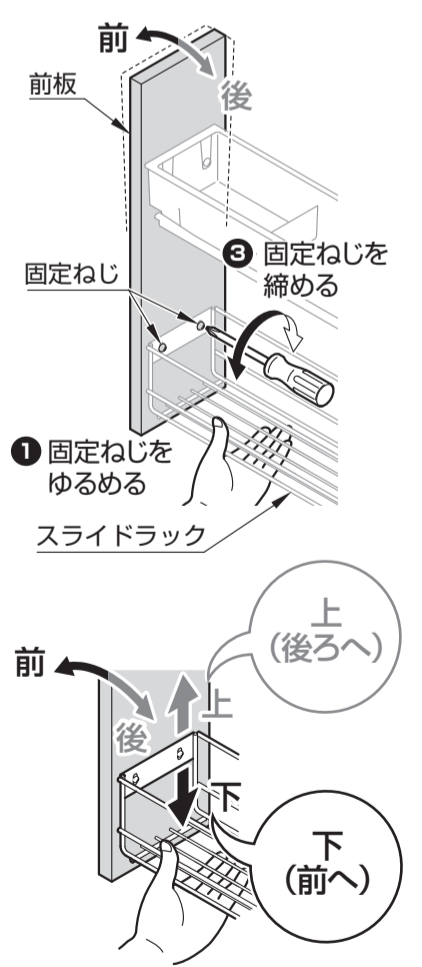
〈スライドラック〉



〈上下・左右のずれ〉
前板で調整する。

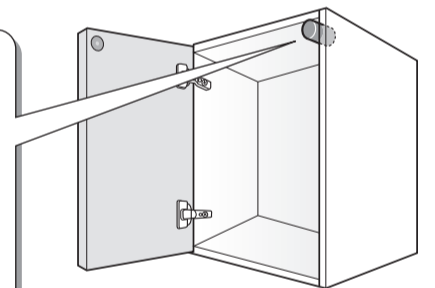
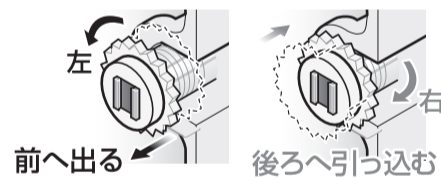


〈前後のずれ〉
スライドラックで調整する。



〈プッシュラッチの調整〉

〈前後のずれ〉
プッシュラッチを回して調整する。
※扉が開かない場合は、左へ回してください。



- 扉が開閉するか確認してください。
- 棚受けダボの抜けがないか確認してください。
- 商品についた汚れ(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。その後、水で湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからぶきしてください。

重要

有機溶剤(シンナー・アセトン)などの使用は表面を変色・変質させますので、絶対に使用しないでください。

- 直射日光にさらされる場合は、必ずカーテンなどで遮ってください。

⚠注意



調整後は必ず、固定ねじを締め付ける

必ず実行 引き出し前板が落下してけがをするおそれがあります。